

次に、三つかけ碟、もろかけ碟の場合、右手の甲を下にし、薬指と小指とで乙矢の板付いたつきを持って一度に抜きとり、四つかけ碟の場合は、右手の甲を上にして一たん引出し、射付節のあたりを薬指と小指との間にはさんで抜きとり、右手はもとの位置に復する。これを取矢（とりやし）という。